

科目名	地域政策論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修	■選択
			学科	□必修	□選択
英文表記	Regional Policy	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	わたべ たかあき	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	渡部 高明	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	地域政策学の概要と都市景観行政を学ぶ				
到達目標	地域政策として都市の創造や景観を生かしたまちづくりの視点を養う。				
授業概要	地域政策を概観しながら、都市計画や景観からのまちづくりに関して、世界の都市や日本の都市について学び、地域のまちづくりの視点を学ぶ。とりわけ、秋田県の地域政策として秋田市の都市計画と景観施策について理解を深める。 具体的に地域政策の一つとして街の景観を見る目を養うように授業を展開する。				
授業計画					
第1回	ガイダンス 地域社会とは				
第2回	地域政策と都市政策				
第3回	地域における景観の多様性				
第4回	地域政策と景観行政				
第5回	日本における地域政策としての景観行政の推移				
第6回	諸外国における地域政策としての景観行政の取り組み				
第7回	地域政策の一つとしての大学内の景観チェック調査				
第8回	地域政策の観点からの景観法と景観条例				
第9回	地域政策と景観問題と裁判				
第10回	歴史的建造物の保存と地域政策と景観行政				
第11回	地域政策とまちづくり				
第12回	秋田市の地域政策としての都市計画と景観行政の取り組み①				
第13回	秋田市の地域政策としての都市計画と景観行政の取り組み②				
第14回	「私の好きな秋田の景観と地域政策」レポート発表①				
第15回	「私の好きな秋田の景観と地域政策」レポート発表②				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	日ごろから、自分の住む街や都市に目を向け、地域政策のありようを考えましょう。 具体的には地元の新聞記事を読んでおくことです。(0.5時間程度)				
履修条件 受講のルール	「都市政策論」「行政学」「公共政策論」などの科目を履修することが望ましい。 期末試験のほかに、レポート作成があります。				
テキスト	『市民の街づくり』(八戸地域社会研究会発行)				
参考文献・資料	『地域政策学入門』(古今書院) 『地域政策』(中央経済社) その他授業で適宜指示します。				

成績評価の方法	定期試験70% レポート20% 毎回のコメントシート10% 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週木曜日1限目と3時限目 これ以外の時間帯は事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100~90点) 優(89~80点) 良(79~70点) 可(69~60点) 不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	秋田市の地域政策の一つとしての秋田市都市計画審議会委員の経験を踏まえ授業を展開する。
学生へのメッセージ	かけがえのない自分の住む地域の様々な問題について考えていきましょう。 きっと、これからの自分の知見に役立つはずです。